

株式会社 繁山興業

2015 年度 環境活動レポート

(対象期間 2015年6月～2016年5月)



本社 全景

発行日： 2016年7月30日

更新日：

□ごあいさつ

私たちは、中長期的な経営展望において「豊かな快適環境を創造する企業」を目指しています。

当社の従業員を中心に、環境保全活動を推進するためにエコアクション21活動を導入いたしました。

今後は、“NO1精神のもと、安心して豊かな生活環境づくりに、技術と信頼で挑戦する繁山グループ”の企業使命感の旗印のもとに、地域社会と共生していく企業として環境保全活動に取り組めます。

環境方針

<環境理念>

”常に社会の正義を全うし、知恵と努力で会社と社員の健全性を保持し社員の幸福と地域社会への貢献を果たす”の経営理念を掲げて、建設業の事業活動を通じて環境保全活動の継続的改善に取り組み、「環境保全と経済活動の両立」する持続可能な社会の実現を目指して、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

私達は、次の環境保全活動項目に取り組めます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守し、適正業務の推進に図ります。
(法令・条約、共通仕様書、顧客のグリーン調達)
2. 電力及び建設重機・自動車燃料による二酸化炭素排出量を削減します。
(事務所電力、現場仮設電力、営業車・運搬車、重機燃料)
3. 省資源、再生資材の利用及び廃棄物削減と再生利用（リサイクルの推進）を推進します。
(事務所一般廃棄物、産業廃棄物、建設副産物)
4. 水使用量の削減を推進します。
(事務所水道水、現場仮設水道)
5. 化学物質の適正管理に取り組めます。
(塗料溶剤、接着剤)
6. 環境に配慮した物品の購入を推進しグリーン調達を推進します。
(事務所事務用品・設備機器、資材原材料など)
7. 環境配慮型の施工に取り組み、地域環境保全に取り組めます。
(省エネ設計、環境に配慮した施工)
8. 地域の道路清掃等の環境活動に積極的に参加する。
(会社周辺・河川・公園など地域清掃、学校との協働、イベント参加など)

環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日： 2014年9月1日

改定日： 2015年8月3日

代表取締役

繁山 和典

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 株式会社 繁山興業
 代表取締役 繁山 和典
- (2) 所在地
 本 社 広島県福山市千田町三丁目48-13
 資材置場 広島県福山市千田町2497
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 代表取締役 繁山 和典 TEL: 084-955-1319
 補助担当者 総務部 久安 亜沙美
- (4) 事業内容
 建築物・土木構造物、舗装、給排水衛生設備工事の設計・施工
- (5) 許可・登録
 特定建設業: 広島県知事 許可 (特-23) 第24963号
 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、防水工事業、水道施設工事業、内装仕上工事業
 一般建設業: 広島県知事 許可 (般-23) 第24963号
 管工事業

- (6) 事業の規模
 法人設立 1991年11月22日
 資本金 2,000 万円
 売上高 75,000 万円

	本社	資材置場
従業員	17 名	無人
延べ床面積	133 m ²	1,173 m ²

建設現場等の概要及び件数

□元請工事	内 容	件 数	金 額 (万円)
配水管布設工事他	水道施設	57	44,500
◇下請工事			
配水管布設工事他	A s 舗装	54	30,500
		111	75,000

車両台数

車種	台数	備 考
10 t ダンプカー	1 台	
8 t ダンプカー	3 台	
4 t ダンプカー	4 台	
3 t ダンプカー	3 台	
2 t ダンプカー	3 台	
営業連絡車	5 台	
作業車	3 台	
軽車両	2 台	
合計	24 台	

主要施工機器設備

名 称	台 数	名 称	台 数
グレーダー	1 台		基
ロード・ローラ	1 台		基
タイヤ・ローラ	1 台		基
ショベル	1 台		基

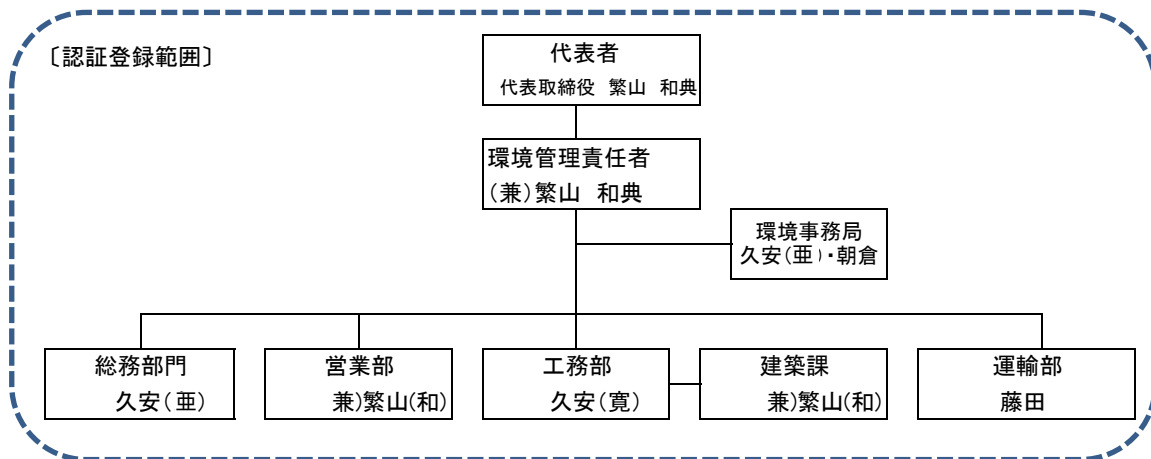
- (7) 事業年度 6月～5月

□ 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録番号 0010498
登録組織名： 株式会社 繁山興業
対象事業所： 本社
資材置場
対象外： なし
事業活動： 建築物・土木構造物、舗装、給排水衛生設備工事の設計・施工

□ 組織図

【環境管理実施体制図】



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	199,247	186,818	195,471
受託廃棄物量	トン	2,206	2,639	0
廃棄物排出量	トン	1,384	1,254	739
一般廃棄物排出量	kg	360	332	330
産業廃棄物排出量	トン	1,384	1,254	739
建設発生土	トン	5,400	2,300	1,640
総排水量	m ³	35	36	43

※二酸化炭素排出係数 0.738 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2015年度		評価	2016年度	2017年度
		(基準年)	(年間目標)	(期間実績)		(年間目標)	(年間目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	14,940	14,641	12,667	○	14,492	14,342
	基準年度比	2013年	98%	<u>87%</u> 85%			
建設重機・自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	184,307	180,621	182,739	×	178,778	176,935
	基準年度比	2013年	98%	<u>101%</u> 99%			
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	199,247	195,262	195,406	○	193,270	191,277
			98%	98%			
一般廃棄物の削減	kg	360	360	330	○	360	360
	基準年度比	2013年	基準年実績値	92%			
建設副産物のリサイクル率の向上	%	93	93	99	○	前年実績値以上	前年実績値以上
	基準年度比	2014年	前年実績値	<u>106%</u> 106%			
水使用量の削減	m ³	35	34	43	×	34	34
	基準年度比	2013年	98%	<u>125%</u> 123%			
化学物質の適正管理	基準年度比	数値目標の設定は無く、管理活動を計画実施する					
グリーン調達の推進	%	76	76	80	○	前年実績値	前年実績値
	基準年度比	2014年	前年実績値	<u>105%</u> 105%			
再生資材の利用の推進	%	96	96	95	×	前年実績値	前年実績値
	基準年度比	2014年	前年実績値	<u>99%</u> 99%			
環境配慮型の施工の取組み	取組み件	51	56	60	○	61	66
	基準年度比	2013年	110%	<u>107%</u> 118%			
地域での環境活動への積極的な参加	件	0	4	4	○	4	4
	基準年度比	2013年	-	<u>100%</u> -			

注) 二酸化炭素排出係数は、中国電力H24年度 0.738 kg-CO₂/kWh を用いました。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	【累計目標：達成】
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	・節電活動は、全従業員が日常的に実施できている。
・不要照明の消灯	○	☆次期も節電活動は継続実施していく。機器の更新時には、省エネ高効率機器を選択して更新する。
・OA機器の電源OFF	○	
建設重機・自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	×	【累計目標：未達成】
・アイドリングストップ	△	・節エネ運転活動は、全員に定着しつつある。
・エコドライブの徹底	○	☆次期も「アイドリングストップの徹底」を推進しCO2排出量削減活動に取組む。
・環境対応型重機車両での施工推進	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	【累計目標：達成】
・分別の徹底	○	・分別処分活動は、実行できている。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	☆次期は、一般廃棄物のリサイクル化率を高める活動を推進する。
・梱包材の再利用	○	
・両面コピーの利用	○	
建設副産物のリサイクル率の向上		
数値目標	○	【累計目標：達成】
・分別コンテナ(ボックス)の設置	○	・分別でリサイクル率はほぼ限界値となった感がある。
・工事現場での分別の徹底	○	☆次期も分別回収でリサイクル化に取組む。
・リサイクル可能な処理業者への委託	○	
・施工検討会等でのリサイクル化の検討	○	
水使用量の削減		
数値目標	×	【累計目標：未達成】
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	・節水活動は、全員実行されているが、数値的には若干のオーバーで削減効果では未達成となっているが問題発生とは至っていない。
・節水弁取り付け	○	☆次期も節水活動を継続する。
・自動水栓取り付け	○	
化学物質の適正管理		
数値目標	—	【累計目標：—】
・有害性化学物質の情報調査把握	△	・主要資材のMSDS収集の取組み活動は、スタートでき一部回収できたが、まだまだ件数が少ない感がある。
・主要資材の化学物質の含有量把握表の作成	×	☆次期も引き続き、主要資材関係のSDS回収に取組む。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・保管容器の管理徹底	△	
グリーン調達推進		
数値目標	○	【累計目標：達成】
・有害性の少ない環境対応資材の購入	○	・事務用品を対象にエコ商品から選択して購入し達成となった。
・省エネ性能の高い製品の購入	○	☆次期の引き続き、エコ商品の調達を実施する。
・燃費のよい自動車の採用	○	
再生資材の利用の推進		
数値目標	×	【累計目標：未達成】
・再生資材の購入	○	・土木建築資材品を対象にデータ収集把握から再生資材の使用を促進したが数値的には若干の未達成となっている。
・顧客へ再生材利用施工の採用働きかけ	○	☆次期も必付き対象品情報の収集で適用資材について検討する。
・新たな再生資材の情報収集	△	
環境配慮型の施工の取組み		
数値目標	○	【累計目標：達成】
・省資源・環境対応型の設計採用や変更	△	・土木施工活動では、概ね取組み活動はできて、数値目標は達成となっている。
・省エネ設計、省エネ機器の採用	○	☆次期も、環境配慮型の施工を推進する。
・再生資源の利用	○	
・低騒音・低振動機器での施工採用	○	
地域での環境活動への積極的な参加		
数値目標	○	【累計目標：達成】
・会社周辺・河川・公園などの地域清掃	○	・地域行事参加及び会社周辺の道路水路清掃活動が実施できた
・地域での環境イベントへの参加	○	・次期も必続き会社周辺道路の清掃活動を実施する。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	収集運搬業、産業廃棄物の排出(廃プラ、廃ガラス、がれき類、廃油等)
自動車NOx・PM法	収集運搬車
オフロード法	バックホー
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	建設重機、舗装版破砕機、空気圧縮機
下水道法	中和設備、工事排水
消防法(危険物)	化石燃料、灯油他の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、建設機械他
自動車リサイクル法	車両

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、2015年1月に福山市より野焼きによる指摘を受け同年8月に産業廃棄物処理業者の資格を返上しました。

□代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21活動をスタートさせて約2年弱が経過しました。全体的な削減目標は達成できているので、今後も更に継続し実施していく。

主要得意先からの工事受注が継続実現できたことは、EA21取組み活動が一助であることを全社員一同で実感できている。今後も社内会議、社内パトロール、社内講習を実施して緊急事態への対応策、環境保護等の意識向上の全社員への浸透と情報共有化を実施していく。

例えば、社内掲示板で数値実績値や取組活動評価等で《見える化》確認できるようになり、事業活動の情報共有化で社内コミュニケーションが良くなり『多くのリスクとチャンスを事前に読み対応する行動』に結びつけていきたい。

今後も「豊かな快適環境を創造する企業」を目指して、全社員ひとり一人が地球環境保全を自覚し、低炭素社会の実現、循環型社会の形成、環境負荷の低減に向けた取組みを確実に実践し、継続的な環境負荷の低減を推進し、当社の今後の事業展開の継続を確実にするための地域社会・顧客様からの当社信頼性確保の向上に努めていきます。